

# 【英語リスニング】 大学入学共通テスト試行調査(プレテスト)所見 (平成30年2・3月実施)

教材研究センター外国語研究室

## ◎ 試験概要 ◎

配点：設定されていない

試験時間：30分

## ◎ 出題における特徴的な点 ◎

●問題は、すべての音声で2回流れるバージョンAと、問題によって音声で2回流れる場合と1回だけ流れる場合が異なるバージョンBの2種類が存在する。バージョンBの音声で流れる回数は問題冊子に記載されている。

●問題は6つの大問から成り、現行のセンター試験のリスニングよりも大問数が2問多い。小問数は、バージョンAが20問、バージョンBが30問。放送回数関係で放送時間が異なるからか、バージョンBのみで出題される問題があるため、バージョンBの方が問題数が多くなっている。

●聞き取る音声と設問選択肢の総語数は、バージョンAは1600語程度でセンター試験と同程度だが、バージョンBは2100語程度で、バージョンAよりも約500語多い。

●全体として、英語を聞き取るだけでなく、発言の要旨を理解したり、複数の意見を比較・整理して正否を判断することも求められている。また、問題冊子に記載されたノートにメモを取りながら解く問題や、ワークシートの空欄に入る語句を選ぶ問題など、音声を聞きながら作業を行う必要がある問題も出題されている。

●音声にはアメリカ英語だけでなくイギリス英語も使われている。また、話者に日本人が起用されている問題もある。

●一部の設問で、当てはまる選択肢を全て選択させる問題が出題されている。

●「高校学習指導要領」において育成を図る資質・能力への準拠を強く意識して問題が作られている。問題ごとに想定されたCEFRレベルがあり、A1～B1レベルの問題を組み合わせて出題されている。※外国語の習熟度を評価する国際指標。

## ◎ 大問ごとの分析 ◎

### 第1問(短い発話の聞き取り)

・Aは短い発話の内容に合う英文を選ぶ問題、Bは短い発話の内容に合うイラストを選ぶ問題。

・バージョンAは、Aが3問、Bが2問。

・バージョンBは、Aが5問、Bが4問。

・バージョンA・B共に音声は2回流れる。

・英語の音声で聞き取れるだけでなく、発話の内容を理解して正答するには文法・語法の知識が重要である。

### 第2問(短い対話の聞き取り)

・短い対話とその対話についての問いを聞き、問いの答えとして適切なイラストを選ぶ問題。

・バージョンAは3問、バージョンBは5問。

・バージョンA・B共に音声は2回流れる。

・現行のセンター試験のリスニングでも第1問で同様の問題が出題されている。ただし、センター試験の方は問いが問題冊子に記載されており、音声として流れない。

・対話の中で正解のイラストについて直接言及している問題だけではなく、内容から推測して正解を選ぶ問題も含まれている。

### 第3問(短い対話の聞き取り)

・短い対話を聞き、問いの答えとして適切な数字・英文を選ぶ問題。第2問とは異なり問いは問題冊子に記載されている。また、対話の場面についても日本語で問題冊子に記載されている。

・バージョンAは3問、バージョンBは5問。

・バージョンBは音声で1回しか流れない。

・現行のセンター試験のリスニングでも第3問で同様の問題が出題されている。ただし、センター試験では対話の場面は問題冊子に記載されていない。

・あらかじめ与えられている場面状況や問いを参考にして、発話の趣旨をよく考える必要がある。

### 第4問A(説明文の聞き取り)

・グラフを完成させるのに必要な説明を聞き取る問題が1問と、チームの分け方に関する説明を聞いて、参加者がどのチームに入るかを選ぶ問題が1問。

・バージョンBのみの出題で、音声は1回しか流れない。

・チーム分けの問題では、同じ選択肢を2回以上選ぶことができる。

・1回しか流れないので、聞き漏らさないようメモを取りながら聞くことが重要である。特に、チーム分けの問題は、聞き取る情報が多いうえに、整理する必要もあるので負担は大きかったであろう。

### 第4問B(複数の情報の比較)

・4人の話者の自己紹介を聞き、問題冊子に記載された条件に最も合う人物を1名選ぶ問題の1問のみ。

・バージョンBは音声で1回しか流れない。

・4人の話者はいずれも日本人の名前で、音声もおそらく日本語を母語とする話者が起用されていると思われる。

・各話者の説明を聞きながら、問題冊子に記載されたメモ欄を埋めることが重要である。

### 第5問(講義の聞き取り)

・大学での講義を聞いて、講義の概要をまとめたワークシートの空欄を埋めたり、講義の要旨として適切な英文を選ぶ問題。

・音声で流れる前に約1分間の問題冊子に記載された状況と設問に目を通す時間が与えられ、「講義のリスニング→3つの小問に解答→講義のリスニング→1つの小問に解答」という流れで解答する。

・最後の小問では、前の講義の内容と与えられたグラフの情報とを総合して考えることが求められている。

・バージョンBは音声で1回しか流れない。

・ワークシートの空欄に埋める情報を聞き漏らさないようメモを取ることが重要である。また、要旨把握問題の選択肢の英文が長く、正確に内容を理解しなくてはならない。

### 第6問(対話・意見の聞き取り)

・Aは2人の対話を聞いて、それぞれの話者の意見の要点を選ぶ問題が2問、Bはあるテーマについて4人の話者の意見を聞いて、賛成意見を述べている人をすべて選ぶ問題が1問と、別の話者の意見を聞いて、その意見に合う図表を選ぶ問題が1問。

・バージョンBは音声で1回しか流れない。

・A、Bともに意見の要旨を大まかに把握して、話者がそれぞれどのような立場を取っているか考えることが重要である。